



打 鐘

当教会の礼拝の開始は10時30分。
牧師入場を合図に、鐘が12回打ちならされます。

前 奏

鐘の後、オルガン（あるいはヒンプレーヤー（讃美歌の伴奏の機械）によって1～2分の演奏があります。
礼拝の備えとして、それぞれが心を落ち着ける時です。

頌 栄

礼拝の最初の讃美歌です。毎月の第一聖日は讃美歌21 他の聖日は54年度版と呼ばれる讃美歌を用いています。
番号は週報に書かれてありますし、司会者も申し上げます。
ご無理のない方はお立ちいただいて、一緒にお歌いください。

主の祈り

世界中 至る場所で この祈りが唱えられます。
讃美歌564番 讃美歌21-93の4に掲載されています。司会者が通常「主の祈り」と言った後、タイミングを合わせて一同で祈ります。
ごいっしょにお祈りいただければ幸いです。

使徒信条

これは、私たちの信じることはこれであるという宣言文のようなもので、毎週、礼拝の中で唱えます。
讃美歌566番 讃美歌21-93-5にあります。司会者の「我らはかく信じ、使徒信条を告白す」という言葉に続いて一緒にお唱えくだされば幸いです。

交読文

司会者と会衆（出席者）が交互に聖書の文言を読むものです。
第一聖日は讃美歌21の後ろの詩編を それ以外の聖日は、讃美歌の後ろ あるいは1編と2編の間にある、文語体の聖書です。

聖 書

ページが記してありますのでお開きいただいて、司会者が朗読するのをお聞きください。

祈 禱

祈りを司会者が担います。
祈りの後にはアーメン（賛成、その通り）と皆で唱えます。

讃美歌

説教前の讃美歌がここにあります。ご無理でなければ、お立ちください。
なお、節が4節以上ある讃美歌の場合、3節の後に短い間奏がはいられます。

説 教

牧師が語るお話ですが、講演ではなく、その日の聖書箇所解説であり、
神から牧師を通して、メッセージが伝えられるとお考えください。
長さは教会によって、牧師によって異なりますが、当教会では、通常、20～30分ぐらいの長さになっています。

讃美歌

説教後の讃美歌です。前の説明の通り行ってください。

献 金

それぞれが与えられたものを神にお返しすることを、
献金という形で行っています。聖壇に各自礼拝の前後にお捧げいただければ幸いです。
郵便振替でも随時受付させていただいています。

報 告

教会の事務的な連絡事項です。週報の内容が説明されます。

頌 栄

最後の讃美歌です。この後、牧師による祝祷（みなさんへの祝福）があります。
祝祷の後には、オルガンのごく短い演奏があり、
その後着席し、少し長めの後奏があります。その日の礼拝の一時を振り返る時となります。
その後、牧師が諸連絡をします。その日の午後の予定などを説明します。
また、初めての方をみなさんに紹介します。（カードのご記入により）よろしければ、一言自己紹介をしていただきたいと思います。
希望されない場合は、お名前のみご紹介させていただきます。

これ以外にも、第一聖日には聖餐というものがございます。
（これは、当教会においては洗礼を受けられた方のみになりますが、パンと葡萄酒（葡萄ジュース）を共にいただく時となります。
まだ、洗礼を受けておられない方は、どうぞその場にいらしていただいて、当番がまわってきても、黙礼していただければ結構です。

